

保護者各位

日野市教育委員会

脊柱側わん症検診のお知らせ

成長期の子供に表れる慢性疾患のひとつに脊柱側わん症があります。この病気は、前後から見れば まっすぐなはずの背骨が、横に曲がってきたり、ねじれてきたりする病気で、進行すると種々の障害をもたらします。

日野市では、小学校5年生と中学校1年生を対象に脊柱側わん症検診を実施しています。脊柱側わん症は、急激に身長が伸びる時期（小学校高学年～中学生）に発生しやすく、進行もしやすいため、早期発見、早期治療が大切です。

検査の方法

第1次検査

小学校5年生及び中学校1年生が対象です。また、他学年で健康診断などから脊柱側わん症の疑いがあると診断されたお子さんも対象となります。

- 検査日 令和6年 9月 24日（火）
- 場所 本校
- 方法 モアレ（しま模様）検査

特殊な光学写真機で撮影しますと、裏面の図のとおり、背面にしま模様が写ります。異常がない場合は左側のように左右対称に写りますが、脊柱が曲がっている場合は、右側のように写ります。※この光は、体に害はありません。

- 持ち物 体育着
- その他 髪の毛が長い人は、肩や背中が見えるように、検査当日は、ヘアゴムなどで **髪の毛をおだんごに結んで**きてください。
けが等の理由でまっすぐ立つことができない場合受診できません。
(欠席者検診日も受診できない場合は来年度の受診になります)
- 欠席者検診 令和6年10月9日(水)午後2～3時半受付
生活保健センター 301・302 会議室（保護者同伴）※受診票持参
検査を受けることが出来なかったお子さんは、こちらで検査を受けられます。

第2次検査

- 第1次検査で異常の疑いのあるお子さんが受けます。
- 直接X線撮影と専門医の診察を受けます。

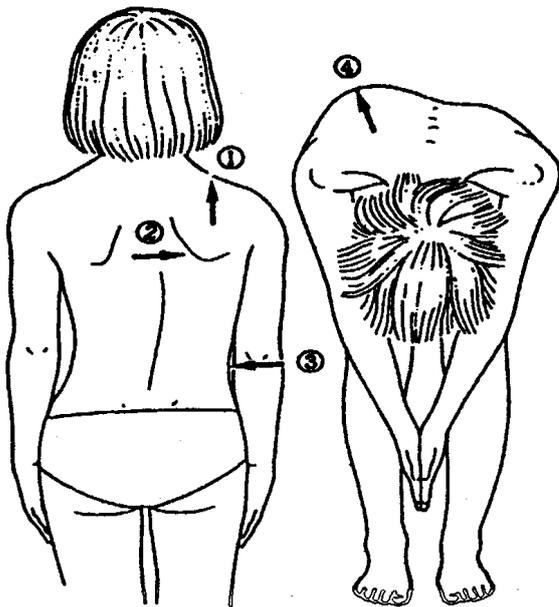
正常者のモアレ写真



脊柱側弯症のモアレ写真



— 家庭でもできる背骨のチェックポイント —



- ①両肩の高さ
- ②両肩甲骨の高さ
- ③ウエストライン
- ④おじぎをしたときの肋骨及び腰の高さ

- 後向きにまっすぐに立ち、「気をつけ」の姿勢をさせます。
⇒ 両肩の高さ (①)、両肩甲骨の高さ (②)、ウエストライン (③) について、左右で違ってないかをみます。
- 両方の手のひらを合わせ、肩の力をぬいて、両腕を自然に前に垂らします。ひざを伸ばしたまま、ゆっくりと深めのおじぎをさせます。
⇒ 肩、背中、腰の高さが左右で違ってないかをみます。(④)。